

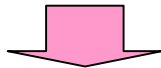


【相談事例】 二世帯住宅プランの注意点等のアドバイスを

わが家の家族構成 本人 62 歳、妻 59 歳、長女 31 歳、長女の夫 33 歳、長男 1 歳
長女の子供も 1 歳となりました。これを機会に現在の家を二世帯住宅に建替え長女家族と同居しようと思っています。

予算は 4,500 万円程度で、自己資金は、2,500 万円(本人 2,000 万円、長女の夫 500 万円)、残りを長女の夫(年収は 750 万円)の住宅ローンで予定しています。二世帯住宅建設の注意点、わが家のマイホームプランについてアドバイスをお願いします。

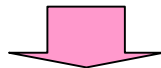
住宅取得計画の検討



マイホーム購入計画



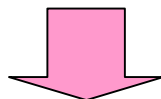
将来の家族のイベントを予測
資金・ローン返済計画



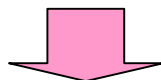
キャッシュフロー表の作成



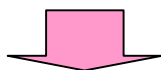
ライフプランの見直し
対策案の検討



ライフプランの確定



ライフプランの実行
マイホームの購入



ライフプラン、
返済計画の見直し

【解決フロー】

二世帯住宅での生活スタイル、親夫婦、長女家族の希望を整理し、ご家族全体のコンセンサスを明確にしましょう。

マイホーム購入を含めた将来計画をライフプラン(人生生活設計)として作成しましょう。親夫婦、長女家族のそれぞれについて、作成します。

お子様の進学希望など今後の家族のイベントを書き出します。またそのために必要な費用を挙げてみましょう。

ご希望のマイホームプランの資金計画・住宅ローン返済予定を計算します。

家族のイベントおよびその費用、マイホームプランを折り込んだキャッシュフロー表を作成します。

最初のシナリオプランでは、親夫婦の老後資金が 75 歳でゼロとなってしまいます。

ライフプランを検討し、見直しや対策案を検討しましょう。

対策プランでは、住宅ローンを 3,000 万円に増額し、親家族の老後資金を 1,000 万円増やすこととしました。支出削減策なども検討いたします。

数回の見直し・検討を繰り返して実現可能なライフプラン・マイホームプランを確定します。

確定したプランに沿って、マイホーム購入をスタートしましょう。

新居入居後半年～1 年程度たって、生活パターン・家計支出が安定した時期に、当初の計画とのずれが生じていないかを検証しましょう。